

## 発射翌日の労働新聞掲載画像

### 北朝鮮発表

- 金正恩党委員長は、朝鮮人民軍戦略軍火星砲兵部隊(有事に太平洋作戦地帯内の米帝侵略軍の各基地を打撃する任務を担っている)の弾道ミサイル発射訓練を現地で指導(日時報道なし)。
- 今回の訓練は、実戦配備された性能の改良された弾道ロケットの飛行安定性と誘導・命中性をはじめとする信頼性を再検閲し、各火星砲兵部隊の実戦能力を判定、検閲するために実施。
- 実戦をほうふつさせる弾道ロケット発射訓練を通じ、敬愛する最高司令官同志の賢明な領導の下で任意の時刻に任意の場所から敵に先制打撃を加えることのできる強力な軍種へと強化され発展した朝鮮人民軍戦略軍の各火星砲兵部隊の軍事的威力が満天下に誇示された。
- 金正恩は「弾道ロケットの連発発射訓練がささいな不足点もなく成功裏に実施されたこと」に「大きな満足の意」を表し、「主体朝鮮(北朝鮮)の初の水爆の雷鳴で荘厳な序幕を開いた歴史的な今年、多段階に起こった核武力強化の奇跡的成果を引き続き強化していくべきだ」と強調するとともに、「主体的核武力をあらゆる方面から強化し、軍事的抑止力をさらに高い段階へと引き上げる上で提起される綱領的な諸課題」を提示。

(平成28年9月6日 朝鮮中央放送)

